

# ピムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド (毎月分配型)

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2018年12月8日～2019年6月7日

第 171 期 決算日：2019年1月7日 第 174 期 決算日：2019年4月8日

第 172 期 決算日：2019年2月7日 第 175 期 決算日：2019年5月7日

第 173 期 決算日：2019年3月7日 第 176 期 決算日：2019年6月7日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、主として円建て外国投資信託への投資を通じて、世界各国のハイイールド債券を高位に組み入れた運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 第176期末 (2019年6月7日)

基準価額 4,210円

純資産総額 35,141百万円

### 第171期～第176期

騰落率 +1.7%

分配金合計(\*) 210円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufig.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

**MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第171期～第176期：2018年12月8日～2019年6月7日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第171期首	4,347円
第176期末	4,210円
既払分配金	210円
騰落率	1.7%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ1.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

### ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（2.3%）を0.6%下回りました。

## 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

ハイイールド債券市況が上昇したこと等が、基準価額の上昇要因となりました。

### 下落要因

米ドルやユーロが対円で下落したこと等が、基準価額の下落要因となりました。

※ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標）は、ICE BofAML 先進国ハイ・イールド・コンストレインド指数（B B - B、円ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※ベンチマークは、当作成期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2018年12月8日～2019年6月7日

▶ 1万口当たりの費用明細

項目	第171期～第176期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	33	0.753	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(19)	(0.430)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(13)	(0.296)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	33	0.755	

作成期中の平均基準価額は、4,337円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

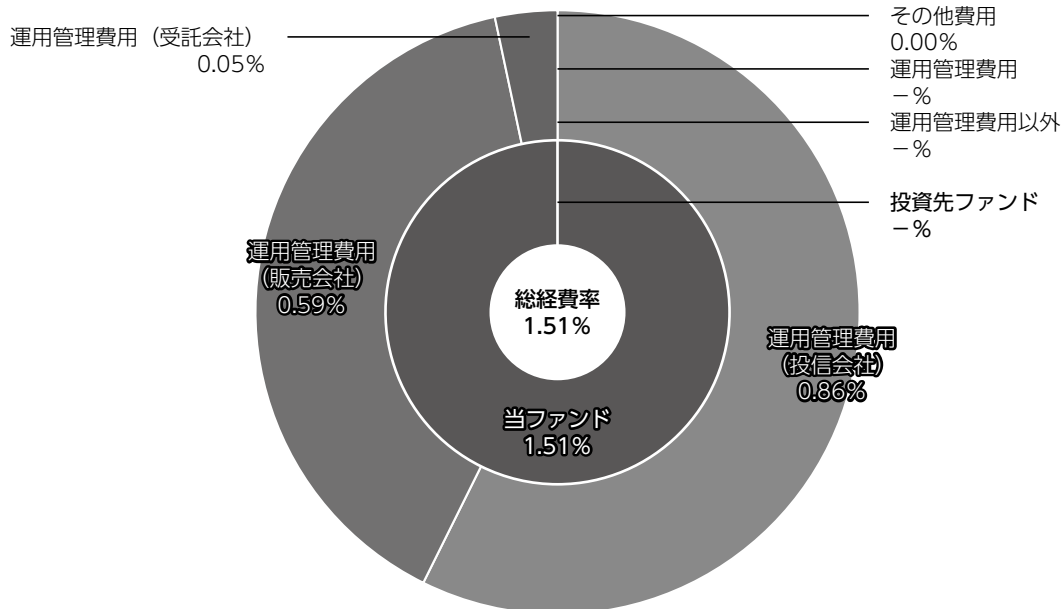
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.51%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.51
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.51
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	－
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	－

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

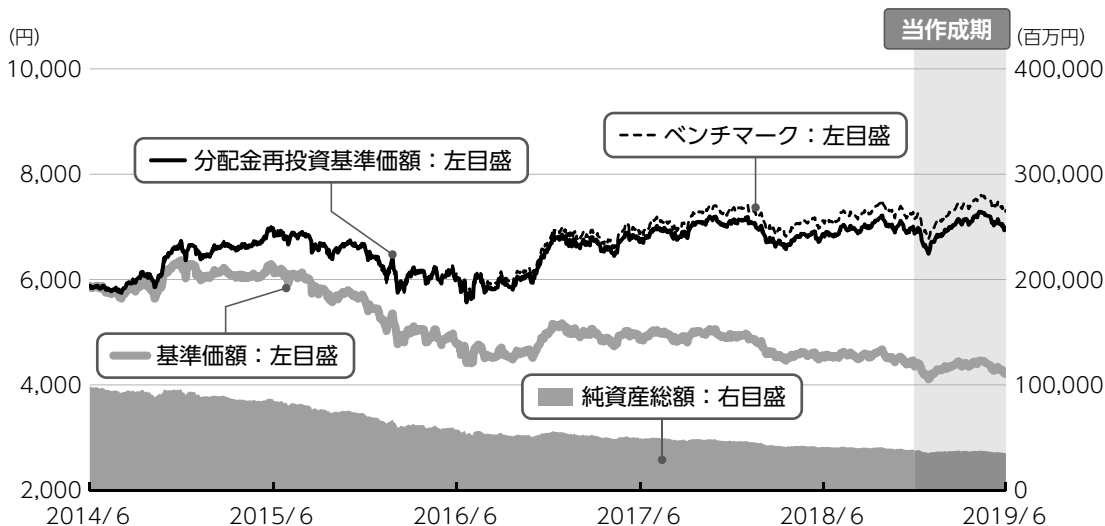
(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2014年6月9日～2019年6月7日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、ベンチマークは、2014年6月9日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。  
 ※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

	2014/6/9 期初	2015/6/8 決算日	2016/6/7 決算日	2017/6/7 決算日	2018/6/7 決算日	2019/6/7 決算日
基準価額 (円)	5,878	6,258	4,786	4,862	4,546	4,210
期間分配金合計 (税込み) (円)	-	660	660	440	420	420
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	18.7	-13.5	11.4	2.0	1.8
ベンチマーク騰落率 (%)	-	19.6	-13.3	12.7	3.5	2.9
純資産総額 (百万円)	98,458	86,398	57,533	48,954	41,098	35,141

※ファンド年間騰落率は、ベンチマーク年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

ベンチマークは、ICE BofAML 先進国ハイ・イールド・コンストレインド指数（B B - B、円ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第171期～第176期：2018年12月8日～2019年6月7日

## ▶ 投資環境について

### ▶ 債券市況

#### **ハイイールド債券市況は、上昇しました。**

当作成期初に米国経済の悪化懸念が拡大したこと等を受け、下落する局面もあったものの、一部の米国経済指標が市場予想を上回ったことや、米企業の決算が概ね堅調であったこと等を受けて、米国経済の底堅さへの信頼が高まり、スプレッド（国債に対する上乘せ金利）が縮小したことに加え、米国金利の低下等を背景に、上昇しました。

### ▶ 為替市況

#### **米ドルやユーロは対円で下落しました。**

当作成期初に米国経済の悪化懸念が拡大したことや、当作成期末に米中貿易摩擦への懸念が拡大したこと等を受け、安全資産とみられている円への需要が高まった結果、米ドルやユーロは対円で下落しました。

### ▶ 国内短期金融市場

当作成期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2019年6月7日のコール・レートは-0.053%となりました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ ピムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド（毎月分配型）

円建てで外国投資信託への投資を通じて、日本を除く世界のハイイールド債券を高位に組み入れた運用を行いました。同時に、マネー・マーケット・マザーファンドの一部組み入れを行いました。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド  
コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保をめざした運用を行いました。

### ▶ ピムコ ケイマン グローバル ハイ インカム ファンド J P Y

世界経済は米国を中心に緩やかながらも成長を続けると見ており、米国経済指標の堅調さやクレジット市場全体のファンダメンタルズが良好な点はハイイールド債券市況の下支え要因であると考えておりました。一方、米中貿易摩擦や英国の欧州連合（EU）離脱等の政治的要因の不透明感等を懸念し、保守的な業種・銘柄選択を継続しました。

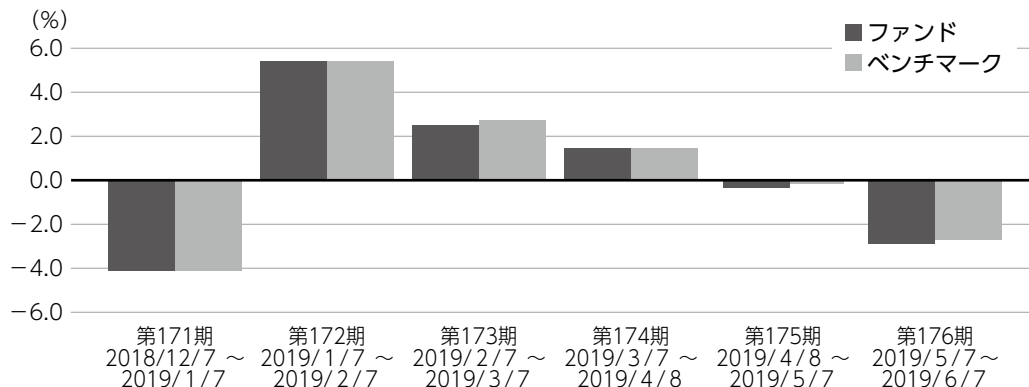
具体的には、米住宅市況の回復の恩恵を受けやすいと考えられる建築資材や相対的に参入障壁が高く安定した収益が期待できると見ているヘルスケア等を積極姿勢としました。一方、参入障壁が比較的低いことに加え、軟調な事業収益が懸念される小売や競争が激しい通信を消極姿勢としました。



第171期～第176期：2018/12/8～2019/6/7

## ▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

### 基準価額（当ファンド）とベンチマークの対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

### ▶ ピムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド（毎月分配型）

基準価額は、ベンチマークに比べ、0.6%のアンダーパフォーマンスとなりました。  
主に信託報酬等のコストがマイナスに影響し、ベンチマークを下回りました。

### ▶ ピムコ ケイマン グローバル ハイ インカム ファンド JPY

基準価額はベンチマーク（ICE BofAML 先進国ハイ・イールド・コンストレインド指数（B-B、円ベース））に比べ、0.2%のアウトパフォーマンスとなりました。

#### （プラス要因）

米住宅市場の回復の恩恵を受けると見て積極姿勢とした建築資材のパフォーマンスが他のセクターを上回ったこと。

相対的にパフォーマンスが他のセクターを下回った運輸を消極姿勢としたこと。

#### （マイナス要因）

相対的にパフォーマンスが他のセクターを上回った保険を消極姿勢としたこと。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第171期 2018年12月8日～ 2019年1月7日	第172期 2019年1月8日～ 2019年2月7日	第173期 2019年2月8日～ 2019年3月7日	第174期 2019年3月8日～ 2019年4月8日	第175期 2019年4月9日～ 2019年5月7日	第176期 2019年5月8日～ 2019年6月7日
当期分配金 （対基準価額比率）	<b>35</b> (0.840%)	<b>35</b> (0.803%)	<b>35</b> (0.790%)	<b>35</b> (0.785%)	<b>35</b> (0.794%)	<b>35</b> (0.824%)
当期の収益	23	27	25	24	21	19
当期の収益以外	12	7	9	11	14	15
翌期繰越分配対象額	381	373	364	354	340	325

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

### ▶ ピムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド（毎月分配型）

#### 今後の運用方針

円建て外国投資信託への投資を通じて日本を除く世界のハイイールド債券を高位に組み入れた運用を行うとともに、一部、マネー・マーケット・マザーファンドの組み入れを維持し、毎月の安定した分配をめざす方針です。

### ▶ ピムコ ケイマン グローバル ハイ インカム ファンド J P Y 運用環境の見通し

世界経済は、2018年以前と比較すると経済成長のスピードは鈍化するものの、引き続き穏やかな成長を継続すると想定しています。米連邦準備制度理事会（F R B）が景気に配慮した姿勢を示したことは市場の下支え要因になるとも考えられます。一方、米中貿易摩擦や英国のEU離脱等は引き続き注意が必要と見ています。

また、ハイイールド債券のデフォルト（債務不履行）率が過去平均と比べて引き続き低水準に留まるとの見通しも、ハイイールド債券市況のサポート要因になると見ています。

#### 今後の運用方針

前述のような環境下、運用に関しては、マクロ環境の変化に対する耐性にも配慮した業種・銘柄選択を行います。

具体的には、米住宅市場の回復の恩恵を受けやすい建築資材等のセクターに対して積極姿勢とします。一方、参入障壁が比較的低いことに加え、景気循環の影響を受けやすい小売等のセクターに対しては消極姿勢とします。

### ▶ マネー・マーケット・マザーファンド 運用環境の見通し

物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

#### 今後の運用方針

コール・ローンおよびC P 現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

## ▶ その他

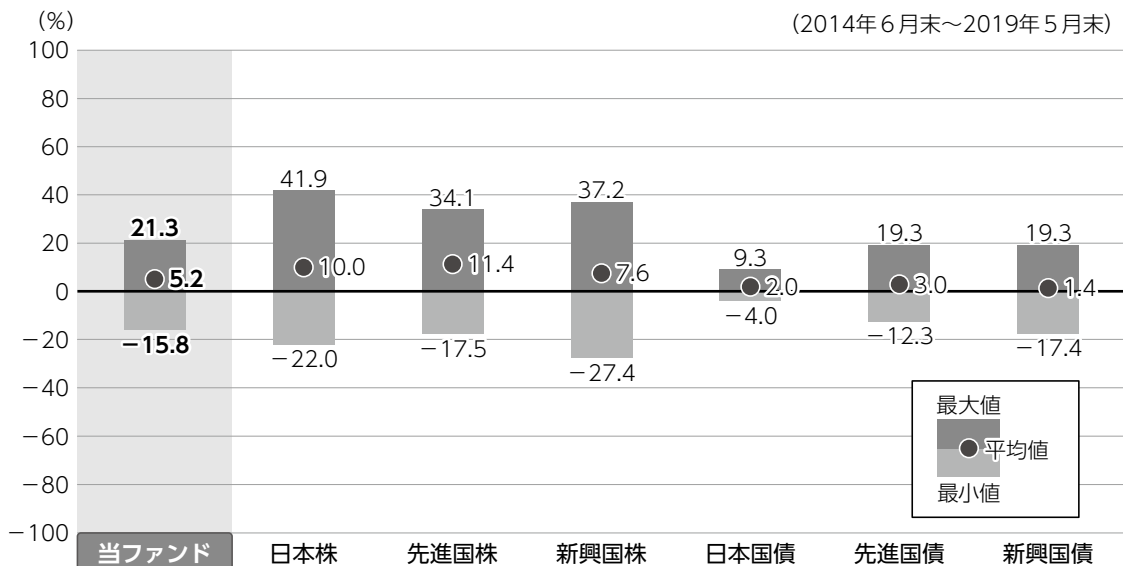
- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。  
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限（2004年9月30日設定）
運用方針	<p>主として円建ての外国投資信託であるピムコ ケイマン グローバル ハイ インカム ファンド JPYおよび証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資を通じて、世界各国の国債、政府機関債、社債、モーゲージ証券（MBS）、資産担保証券（ABS）等を実質的な投資を行います。ICE BofAML 先進国ハイ・イールド・コンストレインド指数（BB-B、円ベース）をベンチマークとします。実質的に投資する公社債は、原則として取得時においてB-格相当以上の格付を有しているものに限るものとし、ポートフォリオの実質的な平均格付は原則としてB-格相当以上を維持します。ポートフォリオの実質的な平均デュレーションは原則としてベンチマーク±2年以内で調整します。実質的な組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。運用指図に関する権限は、ピムコジャパンリミテッドに委託します。</p>
主要投資対象	<p>■当ファンド ピムコ ケイマン グローバル ハイ インカム ファンド JPY投資信託証券、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <p>■ピムコ ケイマン グローバル ハイ インカム ファンド JPY 世界各国の国債、政府機関債、社債、モーゲージ証券（MBS）、資産担保証券（ABS）等を主要投資対象とします。原則として為替ヘッジは行いません。</p> <p>■マネー・マーケット・マザーファンド わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。</p>
運用方法	世界各国のハイイールド債券を実質的な主要投資対象とし、相対的に利回りの高い社債等へ分散投資することにより、高い利子収入の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、経費等を控除後の利子等収益等を中心に、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

## ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2014年6月から2019年5月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

### 各資産クラスの指数

日本株	TOPIX（配当込み）
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
日本国債	NOMURA-BPI（国債）
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本）
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2019年6月7日現在

## ▶ 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

（組入銘柄数：2銘柄）

ファンド名	第176期末 2019年6月7日
ピムコ ケイマン グローバル ハイ インカム ファンド J P Y	99.7%
マネー・マーケット・マザーファンド	0.0%

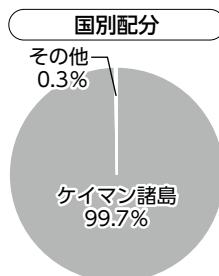
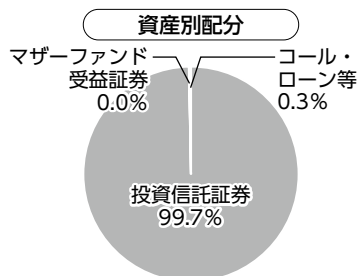
※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

### 純資産等

項 目	第171期末 2019年1月7日	第172期末 2019年2月7日	第173期末 2019年3月7日	第174期末 2019年4月8日	第175期末 2019年5月7日	第176期末 2019年6月7日
純資産総額 (円)	35,520,424,699	36,888,370,442	37,305,953,473	37,285,829,879	36,697,820,489	35,141,218,295
受益権口数 (口)	85,929,392,552	85,358,571,328	84,903,623,422	84,315,214,827	83,942,090,395	83,463,034,496
1万口当たり基準価額 (円)	4,134	4,322	4,394	4,422	4,372	4,210

※当作成期間中（第171期～第176期）において追加設定元本は885,433,964円  
同解約元本は4,007,653,188円です。

### 種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

※【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

2019年2月28日現在

組入上位ファンドの概要

▶ ピムコ ケイマン グローバル ハイ インカム ファンド JPY

基準価額の推移

2018年2月28日～2019年2月28日



基準価額の推移以外の開示情報につきましては、クラス分けされたものがないため、「ピムコ ケイマン グローバル ハイ インカム ファンド」ベースで表示しています。

1万口当たりの費用明細

2018年3月1日～2019年2月28日

※ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用（信託報酬）はありません。

▶ ピムコ ケイマン グローバル ハイ インカム ファンド

組入上位10銘柄

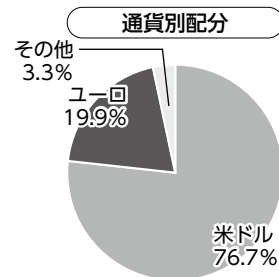
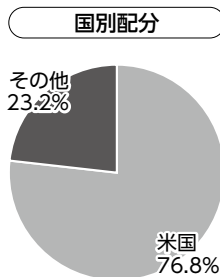
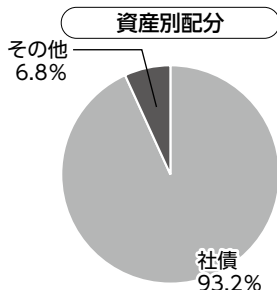
（組入銘柄数：569銘柄）

銘柄	業種／種別	比率(%)
1 CHARTER COMM / CCO SR UNSEC 144A	メディア	0.6
2 TELECOM ITALIA SPA SR UNSEC 144A	電気通信サービス	0.6
3 BEACON ESCROW CORP SR UNSEC 144A	建築資材	0.5
4 CIT GROUP INC GLBL SR UNSEC	その他金融	0.5
5 SPRINT CORP SR UNSEC	電気通信サービス	0.5
6 DIVERSEY (DIAMOND BC BV)	その他工業	0.5
7 UNIVISION COMMUNICATIONS SR SEC 144A	メディア	0.4
8 SCHAEFFLER (IHO VERWALTUNGS) SEC REGS	自動車・自動車部品	0.4
9 ALTICE FRANCE SA SEC 144A	メディア	0.4
10 HCA INC SR UNSEC GLBL	ヘルスケア機器サービス	0.4

※比率はファンドの純資産総額に対する割合です。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等



※資産別配分は、デュレーションが1年未満かつBBB格相当以上の債券等についてはその他に分類しています。  
 ※比率はファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。



968469

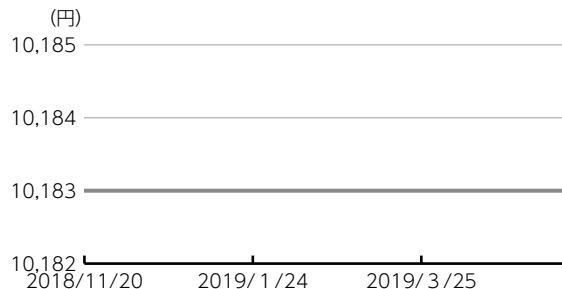
2019年5月20日現在

組入上位ファンドの概要

マネー・マーケット・マザーファンド

基準価額の推移

2018年11月20日～2019年5月20日



1万口当たりの費用明細

2018年11月21日～2019年5月20日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)その他費用	0	0.000
(その他)	(0)	(0.000)
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は、10,183円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

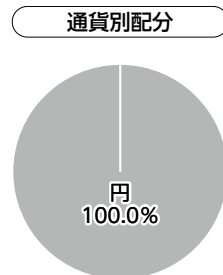
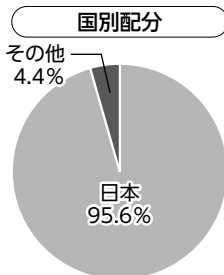
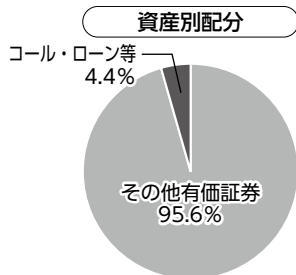
(組入銘柄数：1銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1	イオンプロダクト 190521	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	95.6
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

※なお、その他有価証券以外の全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。  
 ※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの  
 余裕資金等と合せて運用しているものを含まます。

# 指数に関して

## ▶ ファンドのベンチマークである『ICE BofAML 先進国ハイ・イールド・コンストレインド指数（BB-B、円ベース）』について

ICE BofAML 先進国ハイ・イールド・コンストレインド指数（BB-B、円ベース）とは、ICE Data Indices,LLCが算出する主な先進国のハイイールド債券の値動きを表す指数です。同指数は、ICE Data Indices,LLC、ICE Dataまたはその第三者の財産であり、三菱UFJ国際投信は許諾に基づき使用しています。ICE Dataおよびその第三者は、使用に関して一切の責任を負いません。

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ●TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

### ●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村証券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信